おもな事業の概要をピックアップ！

5つの将来都市像に沿った新年度事業

【新】＝新規事業　【継】＝継続事業

（新型コロナ）＝新型コロナウイルス対策関連事業

＊各事業の「▼」が予算額です。

3 健康で安全安心に暮らせるまち

生活の危険を回避できる十分な体制を整備し、市民が健やかな心身を保ちながら、「健康で安全安心に暮らせるまち」をめざします。

【新】新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を実施（新型コロナ）

▼13億6千560万3千円

【新】救急の感染症対策資機材を整備（新型コロナ）

新型コロナウイルス患者の救急搬送に対応するため、感染防護衣などを整備するとともに、医療廃棄物の適切な処分を行います。▼476万3千円

【新】生活困窮者の自立を支援（新型コロナ）

新型コロナウイルスの影響により生活に困窮する世帯へ、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給につなげるために、自立支援金を支給します。▼1千106万6千円

【継】道路冠水対策

道路冠水が頻繁に起こる地区に、センサーやカメラを含めた通信機器などを設置し、冠水状況を確認できるようにして、的確な情報伝達を行います（楢山地区ほか5か所）。▼7千154万8千円

【継】市立病院の運営費を交付

市立病院の事業に要する経費や、今年10月の新病院開院に向けた改築費用の一部などを交付します。▼15億4千960万8千円

【継】がん検診の実施

各種検診の実施とともに、がん検診では、引き続き自己負担の割引制度を実施します。▼2億975万8千円

【継】まん延防止対策（新型コロナ）

新型コロナウイルスの相談窓口を設置するほか、行政検査（医師や保健所の判断で行う検査）を実施し、入院治療が必要なかたの医療費を公費で負担します。

▼1億3千362万8千円

4 家族と地域が支えあう元気なまち

家族の絆・地域の絆・人と人との絆のもと、すべての市民が主人公として尊重され、充実した生涯を送ることができる「家族と地域が支えあう元気なまち」をめざします。

【新】にじいろあきた推進事業

「秋田市パートナーシップ宣誓制度」を導入（3ページに記事掲載）し、性の多様性を理解するためのワークショップや啓発冊子の作成などを行います。▼112万9千円

【新】8月24日は「エイジフレンドリーシティの日」

新たに、毎年8月24日を「エイジフレンドリーシティの日」とし、高齢になっても心豊かにいきいきと暮らせる社会をめざすため、プロモーション事業を実施します。▼286万2千円

【新】LINEなどを活用した子育て情報の発信

新たにLINEを活用して、子育て支援やイベント開催などの情報をより効果的に発信します。

▼235万1千円

【新】河辺市民サービスセンター大規模改修

老朽化した建物の大規模改修工事を行います（事業年度は令和4年度～7年度）。今年度は建物調査などを実施します。▼182万2千円

【継】障がい者などの活動を支援

障がい児（者）やその家族、地域住民、関係諸団体などが自発的に行う活動に対して補助します。

▼120万7千円

【継】結婚新生活を支援

要件を満たす新婚世帯へ、住宅購入費や家賃などの一部を補助します。また、リフォーム費用を補助対象に追加します。▼1千511万6千円

5 人と文化をはぐくむ誇れるまち

歴史や文化をいかした魅力あるまちづくりを進めるとともに、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境の中で、誰もが目標に向かって成長し、希望に満ちた生活を送ることができる「人と文化をはぐくむ誇れるまち」をめざします。

【新】「あきた芸術劇場ミルハス」が6月に開館！

6月に開館記念式典を行うほか、開館記念事業として、9月にグランドオープン記念特別公演、来年1月に県民・市民参加型ミュージカルを実施します。▼1千581万5千円

オープン間近！あきた芸術劇場ミルハス
（裏表紙にプレイベントの記事も！）

【新】佐竹史料館の改築

「佐竹史料館改築基本計画」に基づき、改築に向けた実施設計のほか、埋蔵文化財の発掘調査などを行います。▼2億8千534万2千円

【新】「二十歳のつどい（仮称）」を開催

成年年齢が18歳に引き下げられることから、「新成人のつどい」の名称を変更して開催します。なお、対象はこれまでどおり20歳になるかたで、開催は1月第2日曜。▼183万円

【新】石井露月生誕150年記念事業を開催

記念イベント開催経費を負担します。▼242万2千円

【新】小学校の安全活動を推進

コミュニティ・スクールの枠組みで、地域住民と協議した上で、各校が地域の実情に応じた安全対策を行います。▼1千万円

【新】小・中学校のデジタル教科書を整備

▼1千156万3千円

【新】「第52回 全日本中学校バレーボール選手権大会」を開催

秋田市で8月に実施される同大会の開催経費の一部を負担します。▼100万円

【新】城東中学校・桜中学校共同調理場の改修

老朽化した同調理場の換気設備などの改修工事を行います。▼8千万9千円

【継】旧松倉家住宅（旭南）の修復整備

県指定有形文化財「旧松倉家住宅」を継承し、一般公開などの有効活用を図るため、修復整備を行います。開館は来年3月の予定。▼9千504万6千円

昨年の羽州街道歴史まつり
での修復中の住宅の見学会

【継】学校統廃合の準備

統合を円滑に行うために、統合を予定している学校同士での交流事業の実施や、閉校記念式典を開催するほか、保護者の負担を軽減するためのバス定期券・制服などの支給や、学校備品などの移転・整備などを行います。▼2千871万1千円

このほかにも、計画実施にあたっての新規事業をいくつかご紹介します

【新】庁内定型業務へＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入

デジタル市役所に向けて、事務の効率化、業務時間の削減を行います。▼168万5千円

＊ＲＰＡ＝データの入力や転記、ファイルの複製など、定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する技術のこと

【新】老朽化した職員研修棟を改修

▼1千650万円

【新】軽自動車税申告などの電子データ化

軽自動車の手続きがインターネット上で一括で行えるサービスが全国で来年1月から導入されることから、軽自動車の税申告などの電子化に向けたシステム改修などを行います。▼1千58万3千円

【新】観光・文化施設入場料などのキャッシュレス決済を導入

▼488万6千円

【新】大森山動物園入園料のキャッシュレス決済を導入

▼232万1千円